

地 理 (Geography)	1年・通年 ・2単位・必修 物質化学工学科・ 担当 大矢 良哲	
〔準学士課程(本科 1 - 5 年) 学習教育目標〕 (1)		
<p>〔講義の目的〕</p> <p>歴史では時代の流れ、縦に系統的に理解するのに対し、地理では空間的なものの見方を養う。地理の授業は、学生諸君が自分で地球上の課題を追求していくことを通して、地理的なものの考え方ができるように、社会に出て役立つ地理的技能や知識を身につけることを目的としている。</p>		
<p>〔講義の概要〕</p> <p>地理の学習でまず身につけたいのは地図の活用である。地図を使いこなすための知識・技能を学び、地形・気候など自然環境についての知識を深め、さらに世界の国々（主にアジア）の人々が、どのような生活をし、どのような課題を抱えているかについても考えてみる。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>必ずしも教科書通りに講義を進めるわけではないが、教科書をこえた内容で効果的な学習ができるようにする。そのため各自が、常に講義内容の把握・理解に心がけ、積極的に参加する姿勢が大切である。</p> <p>地図帳は毎回持参すること。地形図・配布資料の実習では色鉛筆を使用することがある。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <p>地理の基礎を理解し、地理的な思考方法を身につける。</p>		
<p>〔評価方法〕</p> <p>以下の3つの項目で成績評価を行う。</p> <p>定期試験 80%…前期中間・前期末・後期中間・学年末の各試験の成績 レポート 10%…課題を提出させ、定期試験と同等に評価する。 出席・受講状況（ノート整理を含む） 10%、 *課題は提出期限や条件を厳守した方が有利に評価される。</p>		
<p>〔教科書〕</p> <p>①『新詳地理B』帝国書院。 ②『標準高等地図―地図でよむ現代社会』帝国書院。</p> <p>〔補助教材〕</p> <p>①1:25,000 地形図「大和郡山」国土地理院発行。 ②配布プリント教材。 ③ビデオ教材。</p> <p>◎ 地形図はできるだけ折り曲げないで、最初の講義に持参すること（折り方を学習します）</p>		
<p>〔関連科目・学習指針〕</p> <p>本教科は歴史（2年・3年）・政治経済（3年）等の科目に関連する。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	世界観と地図の歴史	時代と共に変化する様々な世界観と、それらを表現する地図の歴史を理解する。	
第2週	日本の地図	日本の地図の歴史を概観し、「伊能図」を具体事例に地図の読み方を理解する。	
第3週	地図の種類とその利用	地理情報と地図について概観する。	
第4週	地図の活用と地域調査	地図の活用と地域調査について学び、その知識や技能を身につける。 （「大和郡山」2万5000分の1地形図を使用）	
第5週	世界の地形	世界の大地形について。	
第6週	外的営力によってつくられる小地形	外的営力によってつくられる小地形について。	
第7週	気候の成り立ち	気候の成り立ちについて。	
第8週	世界の気候区分	世界の気候区分について。	
第9週	日本の地形と気候	日本の自然の特徴と人びとの生活について。	
第10週	日本の自然災害と防災	日本の自然災害（地震・津波）について理解する。	
第11週	近畿の活断層	近畿の主な活断層について理解する。	
第12週	世界の環境問題	世界の環境問題、さまざまな問題について考える。	
第13週	日本の環境問題	日本の環境問題について。	
第14週	産業の発達と変化	産業の発達と変化について。	
第15週	世界の農業の現状と課題	世界の農業地域区分、現代世界の農業の現状と課題について。	
第16週	世界の林業・水産業	世界と日本の林業・水産業について。	
第17週	世界と日本の食料問題	世界と日本の食料問題について。	
第18週	世界のエネルギー・鉱産資源	世界のエネルギー資源と鉱産資源について。	
第19週	世界の資源・エネルギー問題	世界のさまざまなエネルギー問題について。	
第20週	世界の工業の発達	工業の発達と立地、世界の工業地域について。	
第21週	現代世界の工業の現状と課題、日本の工業	現代世界の工業の現状と課題、日本の工業について。	
第22週	世界の人口問題	世界の人口問題、発展途上国の人口問題について。	
第23週	先進国・日本の人口問題	先進国と日本の人口問題について。	
第24週	世界の民族・領土問題	日本の領土問題を中心に。	
第25週	現代世界の諸地域 中国	中国の経済発展について。	
第26週	朝鮮半島	韓国の産業の発展と変化、隣国との交流と今後の動向について。	
第27週	東南アジアⅠ	東南アジアの歴史と文化、農業について。	
第28週	東南アジアⅡ	ASEAN 諸国の工業について。	
第29週	南アジア	インドの農業と工業について。	
第30週	まとめ		

* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。
 （達成） （達成） （達成） （達成） （達成）